

# 忘れられない5年間

G8 村上 明花里

私がこの学校に来て五年がたった。気づくと五年。長いようで短いメルボルン生活も、もうすぐで終わってしまう。そう思うと、何気ない毎日がとても充実していたと今頃気づく。

毎日が本当に嵐のように過ぎていった五年間。その中で、私の毎日のエネルギーになったのは、低学年の子、友達との会話。先輩からの「ありがとう」。先生方からの言葉だ。そして、全校で遊ぶ「遊ぼうデー」や休み時間。毎回あるたび、「メル校が大好き」と感じることでできる自分だ。そのエネルギーを私にくれたこの学校は全校仲が良くて、本当に素晴らしい学校だと思う。

そんな素晴らしい学校、メル校で何が楽しかったですか？何が一番印象的でしたか？そう聞かれるのが一番困る。一番なんて決められるわけがない。宿泊学習や、運動会だって、忘れられない。けれど、普段のふざけた何気ない会話、みんなと遊ぶ休み時間、先生との会話がすぐ頭に浮かぶ。特別ではない、毎日が一番だった。そして五年間、毎日が楽しくて、楽しくてたまらなかった。休みがいやだったほど、休みなんてなくていいのにと思ったほど楽しかった。テストがあったり、喧嘩したりした日など、憂鬱な気持ちで学校に行っても、学校に行ってみみんなの顔を見ると、やっぱり私の居場所はここだなと感じる。

ここで出会った仲間のこと、ここで経験したこと、学んだこと。ぜったいに忘れない。それらを生かして生活できたら、メル校がずっと私の中にあると思うから。

メル校に来てよかった。